

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年05月08日

計画の名称	飛騨市における循環のみちの実現（防災・安全）												
計画の期間	平成31年度～平成35年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	飛騨市												
計画の目標	ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の老朽化対策に取り組み、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	219	A	219	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標）  定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31	H33	H35
1	下水道施設更新の進捗率を0%（H30末）から、100%（H35末）に増加させる。 下水道施設更新の進捗率 更新済の下水道施設（施設） / 更新すべき下水道施設（施設）	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
ストックマネジメント計画														



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
関係部署（環境水道部水道課）により実施	令和6年度
	公表の方法
	市ホームページによる
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・下水道施設更新の進捗率については、飛騨市下水道ストックマネジメント計画に基づき、改築実施計画に記載されている施設の更新を全て完了し、施設の健全性の向上を図った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
飛騨市下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化対策としてマンホールポンプや処理施設の計画的な更新を実施したことにより施設の健全性が確保された。今後は必要に応じてストックマネジメント計画を見直し、老朽化対策を実施していくことで、引き続き下水道施設の安心・安全、快適な暮らしの実現及び良好な環境を創造することに寄与していく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道施設更新進捗率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%